

# 人間の経済

第2期 第 **24** 号 (通巻102号) 2005年6月13日刊

## 目次

週刊マーケットレター (05年6月13日週号)

主要マーケット指標

米金融政策と景気のみスマッチが不動産をバブル化

人件費抑制による増益

設備投資拡大に走る大企業

曾我 純

執せず軽んぜず

森野 榮一

ワット補助ゲーム

森野 榮一



# 週刊マーケットレター（05年6月13日週号）

2005年6月12日

曾我 純 jsg@syd.odn.ne.jp

## 主要マーケット指標

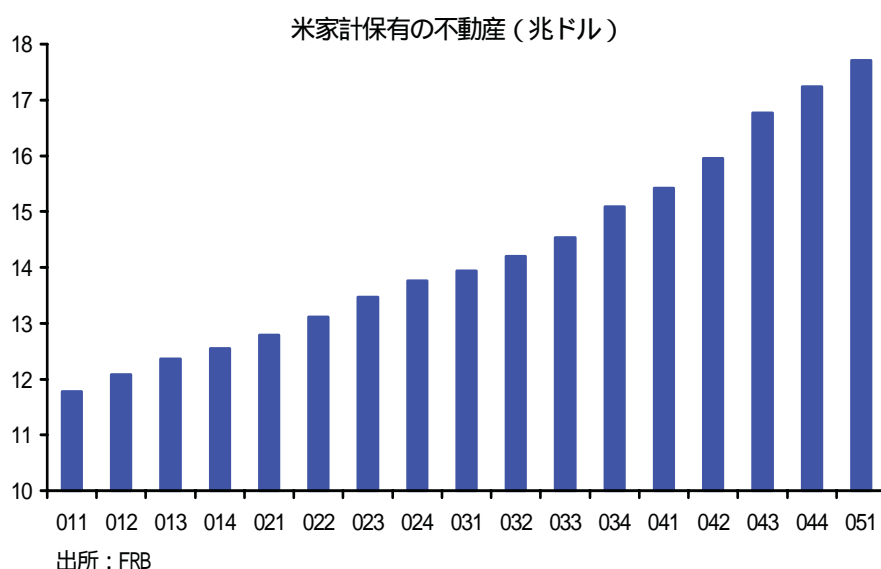
為替レート	6月10日（前週）	1ヵ月前	3ヵ月前
円ドル	108.65(107.70)	105.60	104.10
ドルユーロ	1.2120(1.2235)	1.2875	1.3425
ドルポンド	1.8115(1.8120)	1.8820	1.9225
スイスフランドル	1.2685(1.2540)	1.2020	1.1530
<b>短期金利（3ヵ月）</b>			
日本	0.05313(0.05375)	0.05500	0.05000
米国	3.40000(3.36000)	3.25000	3.00000
ユーロ	2.11519(2.11613)	2.12125	2.13344
スイス	0.75000(0.75000)	0.76833	0.75000
<b>長期金利（10年債）</b>			
日本	1.220(1.240)	1.275	1.475
米国	4.05(3.97)	4.20	4.46
英国	4.23(4.26)	4.45	4.87
ドイツ	3.13(3.23)	3.36	3.76
<b>株 式</b>			
日経平均株価	11304.23(11300.05)	11159.46	11864.91
TOPIX	1148.97(1147.72)	1149.58	1195.43
NY ダウ	10512.63(10460.97)	10281.11	10851.51
S&P500	1198.11(1196.02)	1166.22	1209.25
ナスダック	2063.00(2071.43)	1962.77	2059.72
FTSE100（英）	5030.4(4999.4)	4892.4	4962.1
DAX（独）	4586.10(4510.39)	4251.13	4337.68
<b>商品市況（先物）</b>			
CRB 指数	302.48(306.70)	301.44	315.15
原油（WTI、ドル/バレル）	53.54(55.03)	52.07	53.54
金（ドル/トロイオンス）	427.4(423.7)	427.2	442.8

## 米金融政策と景気の不マッチが不動産をバブル化

先週末の米債券相場は反落したが、その他主要国の債券利回りは低下し、資金は引き続き債券市場に流入している。特に、欧州の債券相場は堅調であり、英国やドイツの利回りの低下は過去3ヵ月で0.6%を超えた。1 - 3月期のEU GDP(名目)は前年を3.3%上回ったが、4 - 6月期以降、大幅にスローダウンする見通しであり、欧州債券相場はこうした経済成長率の低下を反映した上昇だと考えられる。

4月のOECD景気先行指数は前月比0.3%減と3ヵ月連続のマイナスだ。ピークの1月から0.8%低下し、OECDの景気は緩やかな下降に向かいつつある。過去3ヵ月の落ち込みが大きいのは米国とドイツであり、1.5%、1.4%それぞれ下落した。日本も0.9%低下し、米国、ドイツ、日本の3カ国が世界景気の足を引っ張っている。

OECD景気先行指数の前年比伸び率はゼロまで低下し、5月は2年ぶりのマイナスになるだろう。すでに、日本は3ヵ月、米国は2ヵ月連続の前年割れとなり、景気のテンポは前年を維持できなくなってきている。OECD景気先行指数が前年水準を下回る期間を振り返ってみると、短期で回復している場合もあれば、長期化するときもあり、ケースバイケースだが、それを決めているのはウエイトの大きい米国の動向であることは間違いない。米国が03年前半のように半年でマイナスから抜け出せるのか、その前のITバブル以降のように1年以上も前年割れが続くのか、米国の動向が世界経済の帰趨を握っているといえる。

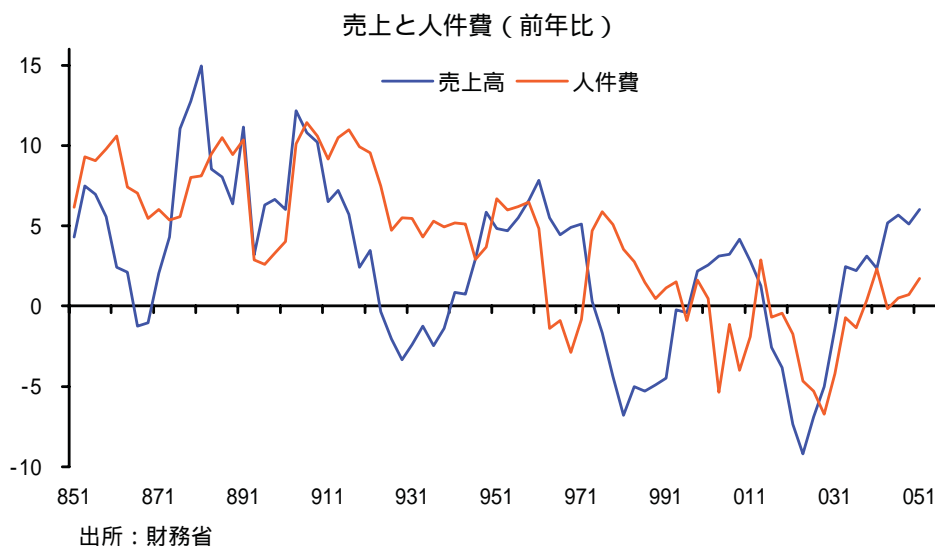


先週、上下両院合同経済委員会でグリーンズパン FRB 議長は米国景気は「かなり底堅い」と表明し、現在 3.0%の政策金利のさらなる引き上げを示唆している。だが、政策金利の引き上げは、米景気先行指数の下落を後押しすることになり、景気後退を深刻なものにするだろう。政策金利の上昇と債券利回りの低下という組み合わせは、景気の現状と金融政策が不マッチであることを物語っているのだと思う。

雇用の改善と不動産価値の拡大により、主力の個人消費が高い水準を保っているが、企業収益の伸びは低下しつつあり、設備投資は減速するはずだ。債券利回りの低下は株式や設備投資を刺激していないが、個人の不動産購買意欲を高めている。3月末の米家計の不動産価額は17.7兆ドル、前年比14.9%増、2000年末比では+55.4%の急増となり、米家計消費を高水準に支えている最大の要因になっている。政策金利の引き上げが、債券利回りの低下を促し、不動産市場はますます活況になるという好循環はいつまで続くのだろうか。

### 人件費抑制による増益

1 - 3月期の法人企業統計によると、売上高は前年比+6.0%と今回の回復過程で最高の伸びとなり、96年1 - 3月期以来の高い増収率となった。製造業は+4.8%と前期並みにとどまったが、非製造業が+6.5%に拡大したからである。非製造業の増収に寄与したのは情報通信・運輸業であり、寄与率は5割に達した。一方、営業利益は前年比10.7%増と伸び率は3四半期連続の低下だ。売上高原価率は77.8%と前年と同じだったが、販管費比率は

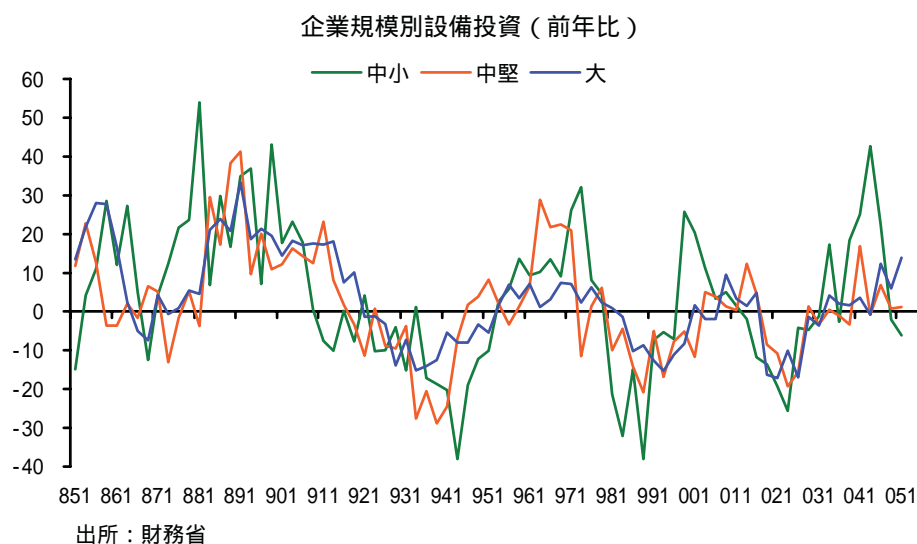


17.9%、前年比0.3ポイント低下したことが、営業利益の拡大につながった。

原材料価格の急激な上昇にもかかわらず、売上高営業利益率が改善し増益を維持できたのは、人件費を前年比1.7%、売上高の伸び率の3分の1以下に抑制したからである。人件費は役員給与、従業員給与、福利費の3項目を合計したものだが、役員数は減少し、それに見合うだけ役員給与も減少、福利費は大幅な削減が続いている。人件費の75.7%を占める従業員給与は3.1%増加したが、従業員数が5.5%増加したことを考慮すれば、1人当りでは95.6万円、前年比2.1%のマイナスだ。従業員は増やしたが、1人当りの給与を引き下げ、人件費を押さえ、利益を生み出したのである。

## 設備投資拡大に走る大企業

全産業の営業利益は2桁の伸びを維持しているが、資本金10億円以上の大企業の営業利益は前年比+4.2%と03年10-12月期以来の1桁の低い伸びとなった。売上高が全規模を下



回る+5.1%にとどまったことに加え、人件費が前年比1.2%増加し、売上高原価率がやや低下したからである。大企業の増益率は低下しているが、1-3月期の設備投資は前年比13.8%増と91年4-6月期以来約14年ぶりの高い伸びだ。中小や中堅企業の設備投資は04年4-6月期、同1-3月期にそれぞれピークを付け、中小はすでに2四半期連続の前年割れになり、冷え込みつつあるなかでの増勢なのである。過去の規模別設備投資をみると、大企業は中小企業の伸びが減速してもなお積極的な投資姿勢を示している。収益率が低下しているときに、設備投資をさらに拡大することは、大企業の収益を一気に悪化させるかもしれない。

# 執せず軽んぜず

森野 榮一

おそらく地域通貨を始めた方々が日常ぶっかるのは金銭の病との付き合い方の難しさだろうと思います。

昔は実業の世界に入ると私のような若造にいろいろ教えてくださる方がいて、金銭との付き合い方、その考え方を教えてもらいました。

話を聞かされた当時はふ～んという感じでしたが、いまにして思うと、貨幣システムの批判なんという大所高所の議論なんぞ知らなくても、当時すでにそうしたことを教えられていたのでありました。私は鈍くてわからなかった…

ひとつは金銭の病にかかるなというのがありました。

この病には、いろいろあるそうで、

なにか事業をしたいとか、なんらの人生の目的をもたずして、将来への漠たる不安から、老後はどうしよう、首になったらどうしようという、万ーのためにとにかく貯蓄に励む病。万ーの病。

とにかくカネは利口に使わなくちゃと、一銭でも安いものをさがし、手に入れると得をしたと安心し、結局、安いモノ探しで時間を使い、つい要らぬものを安いからと買い求めてしまう、「利口に使おうとするおバカな病」

カネがないと人間は馬鹿にされるのだと思いきみ見てくれや体裁を気にし、それにカネをつぎ込んでしまう見栄、体裁の病

なにかを見るとすぐ欲しくなり、手に入れたものはじぶんを満足させるにちがいないと信じている浪費に憑かれた病

お金を使うのに逡巡し、ほんとうにその物が必要であっても迷い抜き、最後はお金を持っていること自体さえ、不安になる病。これは品物を買っても後悔、買わぬも後悔、人生、気の休まらぬ病とも。

これに対して、金銭批判をする人は、カネなど問題じゃないといい、金銭に執着するなど、卑俗。世の中には金銭以上のものがあると力説する。

これは正しいかということそうじゃあない、と。金銭への執着の裏返し。病に変わりなし。カネに報復されるの病とも。

ふつうの人間は金銭に妥当な扱いをしなければならぬ。生活にしっかりとした目的と計画をもち、そのために貯蓄し、少ない所得のなかで必要なものを購入し、支払をきちんとし、貧しきに同情をもちながらも、富むことは立派なことだと考え、必要であり筋が通っていれば借金も恐れない、そんなふうじゃなきゃいかんと。

金銭に関しては、執せず軽んぜず、でいきなさいよ、と。

みなさまには、そんなことは先刻ご承知のことでしょう。でも、私はこうした病に苦勞して今日まで。なさけなや。

WATML より

# ワット補助ゲーム

森野 榮一

みなが集まったらまず最初に

人が集まったときみなでワットや地域通貨について体験ゲームをするのは楽しいですね。そこで大事なことは、ワットや地域通貨について理解を深める以上に、お互いが知り合いになり、理解が深まることです。

そこで今回は、人が集まったら、いちばん最初にしておくとい「遊び」をご紹介します。これはワットの基本を体験するゲームの前にしておくといでしょう。

ワットゲームでは、参加者に、提供できるモノやコトを一枚に一件、書き入れたカードが数枚、参加者に配られます。みな同じ枚数です。均しからざるを憂えて平等に配分します。

でも現実是不平等ですよ。そこでこのゲームをすると、現実近づきます。つまり勝つ人と負ける人ができます。そうしてワットゲームの前提条件を作ります。

しかし、この補助ゲームの狙いは別にあります。

- まず、全員が各自の名前を覚えます。

- それから、うち解けて、次のゲームに進みやすくなります。

準備

準備はカンタンです。

- 参加者ひとり一人の名札を用意し、配ります。
- カードを一人三枚あて、配ります。
- 進行役を決めます。

進行役が決まりました。

<進行役> みなさん、名札にご自分の名前を書いてください。

書けましたか。

そうしたら胸によく見えるように付けてくださいね。

進行役は白板にひとり一人の名前を書き出します。これはひとり一人に声をかけながらします。

本日はみなさん、お集まりいただきありがとうございます。多方面からお集まりいただき、反響の大きさに喜んでおります。でも、みなさんがたはお互いにご存じでない方も多いですよ。お一人一人、ご紹介してよろしいですか。ゲームにも使います



ので、ここに（白板に）お名前を書かせて  
いただいてよいですか。

こんにちわ

Aさんですか。

え~っとAさんと、と言って白板に書く。

<以下同様に・・・>

名前	
A	
B	
C	
D	

と書いていきます。

準備はこれだけです。

#### ゲームの練習

<進行役>

さて、ゲームを始めましょう。

まず、机を片づけましょう。それでイス  
だけでまあるく輪をつくり腰掛けてくだ  
さい。

今日は各方面からお越しに  
います。お知り合いでない方もいらっしやる  
でしょうね。今日、ぜひみなさん、お友達  
になりましょう。胸元に名札を付けていた  
だきました。難しい読みのお名前は・・・  
あ~、失礼ですが、なんとお読みするの  
でしょう？

\*\*\*です。

では名札にふりがなを書いてください。

あとは、皆様、お一人お一人の名札がお読  
みいただけますね。

さて、このゲームはたいへんかんたんな  
ものです。今日は、お歳をお召しの方もい  
らっしゃいますので、四拍子でいたしま  
しょう。私が手を叩きますので、皆様もど  
うぞ。

イチ、二、サン、シ、（手をたたきなが  
ら）イチ、二、サン、シ・・・

そうです、そうです、イチ、二、サン、シ。

は~い

ありがとうございます。（手拍子を止  
める）

では、今度は、右手と左手を使います。  
両手を空けておいてくださいね。親指を立  
てて、そのほかの指を握ってください。こ  
うですね。

そうそう、そうです。

では、四拍子でいきましょう。左右の親  
指を交互に倒したり起こしたりして調子を  
とりましょう。私が、イチニサンシとい  
いますから、はい、どうぞ~。

イチニサンシ、イチニサンシ、・・・

はい、ありがとうございます。

#### ゲームの開始

では、遊びましょう。

イチニサンとって私が誰かの名前を

呼びます。呼ばれたひとは、イチニサンと  
きてシのときに、また誰かの名前を呼びま  
す、自分の名を呼んだ人の名前を言っては  
いけません。いいよどんだり、つかえたり  
したら、その人の負けです。自分の名前  
を呼んだ人にカードを一枚あげなければな  
りません。

ちょっとしてみましょう。親指を動かして  
調子をとってくださいね。

イチ、二、サン、Aさん、  
(Aさん)イチ、二、サン、Dさん、  
(Dさん)イチ、二、サン、Fさん、  
⋮

進行役は段々、テンポを早くしていく、  
イチ、二、サン、・・・

あ～、Eさん、失敗しましたね。Eさん  
を呼んだFさんにカード一枚あげてくだ  
さい。

これを10～15分くらいします。

さて、みなさんいかがでしたか。お名前  
を覚えましたか？

ここで、みなさま、カードを何枚おもち  
ですか。Aさん、何枚ですか。

えっと、Bさんは？

進行役は、次々と白板に書き出していき  
ます。

あれまあ、最初はみな平等だったんです

が、貧富の差ができちゃいましたね。

名前	
A	1
B	2
C	2
D	3

これが現実ですね。でも、この現実のな  
かで地域通貨ははじまるんですね。

さて、では、次のゲームにいきましょう。

(補助ゲーム：終わり)



編集・発行 **ゲゼル研究会**

221-0021 横浜市神奈川区子安通3-321森野榮一気付

Gesell Research Society Japan <http://grsj.org/> [info@grsj.org](mailto:info@grsj.org)

Gesell Research Society Japan all rights reserved 許可無く複製・再配布を禁ず